JSAP最終版/2026

第72回応用物理学会春季学術講演会
12 有機分子・バイオエレクトロニクス 公開シンポジウム

ナノテクノロジーを駆使した バイオセンサーと２次元材料の最前線

～ヒト感染性ウイルスを迅速に検出可能なグラフェンFETセンサーによるパンデミックのない社会の実現～

田中 健一

松本 和彦

内田 建

長島 一樹

小川 新平

名和 靖矩

牛場 翔太

前橋 兼三

プログラム

13:30-13:35	オープニング	開催の趣旨説明 松本 和彦（大阪大学）
13:35-13:45	御挨拶	田中 健一（JST未来社会創造事業「世界一の安全・安心社会の実現」領域運営統括）
13:45-14:15	基調講演①	「分子認識と自己加熱を融合したグラフェン呼気ガス多成分センシング」 内田 建（東京大学）
14:15-14:45	基調講演②	「ポリマー-カーボンナノコンポジット薄膜人工嗅覚センサの設計と応用」 長島 一樹（北海道大学）
14:45-15:15		休 憩
15:15-15:45	基調講演③	「グラフェンイメージセンサ」 小川 新平、嶋谷 政彰、福島 昌一郎、岩川 学（三菱電機）
15:45-16:00	一般講演	「細胞から分泌された単一エキソソームのプラズモニックチップによる膜たんぱく質分析」 名和 靖矩、岩村 樹、冨上 眞、重藤 元、山村 昌平、田和 圭子(関西学院大学、産総研)
16:00-16:15	一般講演	「グラフェンFETバイオセンサ応答の回路シミュレーション」 牛場 翔太、中野 友美、佐藤 弘樹、今村 均、木村 雅彦、松本 和彦（村田製作所、大阪大学）
16:15-16:45	招待講演①	「グラフェン表面の分子機能化による高感度センシングデバイスの開発」 前橋 兼三（東京農工大学）
16:45	閉会の辞	松本 和彦（大阪大学）

日時 令和 8年 3月15日(日) 13:30～16:45

会場 東京科学大学 大岡山キャンパス M_278 (本館) （東京都目黒区大岡山）

主催 応用物理学会、 科学技術振興機構

公益社団法人 応用物理学会

JST MIRAI 未来社会創造事業

※なお、シンポジウム内容や登壇者は変更する場合があります。
当シンポジウムに関するお問い合わせは、下記Eメールまで直接ご連絡ください。
・お問い合わせメールアドレス
nigs-staff2%sanken.osaka-u.ac.jp
(%を@に変えてください)